【別添】

「看護配置や看護職員の専門性の向上と Patients / Nursing Outcome に関するエビデンス創出と Platform 開発研究」実施に関するお知らせ

患者の皆様に提供する医療の質の向上を目的として、広島大学医系科学研究科健康情報学研究室では、倫理審査委員会の承認のもと、国立病院機構に属する各病院の電子カルテ等診療情報等を活用した、研究を実施します。その内容は以下の通りです。

１．研究の目的

安全な医療を提供する上で、看護師の人員確保や質の高い看護の提供は重要な課題です。十分な人材の確保と専門性の高い看護師の配置は、患者さんのメリット（患者アウトカム）に影響すると考えられますが、これを定量的に評価し、多施設での研究は本邦ではほとんどありません。本研究では、診療情報及び看護師の配置や専門的知識や技術、看護師の離職状況等が患者アウトカムにどう影響するかを明らかにします。

２．研究の概要

病院、看護管理者はよりよい看護を提供するために適切な人員配置や看護師の経験・能力を含めたリソースの整備・配分を保証しなくてはなりません。海外の研究では、看護管理者が行うべきマネジメントが最終的には、患者さんのメリット（患者アウトカム）に影響することがわかっています。しかしながら、わが国では、そのような現状を捉えるための調査や研究が十分ではありません。このような背景から、上記の研究の目的の内容に関する研究を行います。本研究の対象は、2013 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日に国立病院機構に属する施設に入院実績がある患者さんとなります。本研究では、医療行為やケアの内容、診療報酬明細情報、「DPC 導入の影響評価に関する調査」に提出している診療情報等のデータ、患者さんの検査や観察データを二次利用させて頂きます。これらは、日常診療から集積された既存のものであり、新たに患者に何らかの負担が生じることはございませんので、ご安心ください。（研究実施期間：倫理審査承認日から 2028 年 3 月 31 日）

３．個人情報の保護について

本研究で利用させて頂く個人情報は、患者の皆様の個人が直接特定できない情報として加工し、厳重に管理・保護します。プライバシーに係わる個人情報が外部に漏洩する事は一切ございません（東京科学大学倫理審査承認番号（M2023-113））。本研究の成果に関しては、患者・国民の皆様や外部組織への公表、医学的な学会での発表や専門的な雑誌で発表することがありますが、集団を記述した数値データとし、患者様の個人が同定されることは一切ございません。

本研究の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。ご自身の情報が本研究に利用されることにご了承いただけない場合、研究計画書および研究に方法に関する資料の閲覧をご希望される場合、本研究で利用する個人情報の開示等を希望される場合、または本研究についてご質問がある場合は、下記窓口までご連絡ください（代理人の場合も同様）。それらの場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。
ご自身の情報が本研究に利用されることにご了承いただけない患者様の情報は研究利用いたしません。

なお、本研究は文部科学省科学研究費補助金科学研究費助成事業（基盤研究（B）看護管理情報と Patient/Nurse Outcome に関するエビデンス創出のための Platform 開発）を用いて行われます。本研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

【別添】

【問い合わせ窓口】

広島大学大学院医系科学研究科 健康情報学

担当：恒松美輪子

〒734-8551　広島市南区霞 1-2-3

TEL: 082-257-5346

【研究代表者連絡先および問い合わせ先窓口】

東京科学大学病院 クオリティ・マネジメント・センター

担当：森脇睦子

〒113-8519　東京都文京区湯島 1-5-45

Tel: 03-5803-4191

【研究代表】

森脇睦子

国立病院機構本部　診療情報分析部

（東京科学大学病院）

【研究分担者（各施設研究責任者】

堀口裕正

国立病院機構本部　診療情報分析部

恒松美輪子

広島大学医学系研究科

林田健史

産業医科大学病院